**令和7年度　事業計画書（駒方寮）**

**１．事業運営基本計画（事業目標）**

（１）サービス内容・品質向上（第三者評価含む）

（２）後継者確保・育成（採用・教育・定着）

（３）心理的安全性の高い働きやすい職場

（４）事業収益の維持・向上

（５）コンプライアンスの遵守

**２．具体的計画**

（１）サービス内容・品質向上（第三者評価含む）

　　１）入所児童へ定期的なヒヤリングが実施できる体制（①権利擁護委員を交えて年間を通じたヒヤリング：年数回、②子ども集会：年数回 等）を推進します。

　　２）外部評価機関による第三者評価へ向けて、改善項目の向上（C評価を無くす）が図れるよう準備（ユニット会議や職員会議で標準的な実施方法の復唱 等）します。

　　３）大人と子ども双方の防災意識を高め安全を確保します。継続して防災用品や連絡・集散体制の見直し等、BCP（事業継続計画）実施体制を確保します。

　　４）社会福祉法人の公益性に資する「ハチドリチャレンジ」を継続し、また子育て支援機能の連携・強化に向け、区社協・学区社協等社会資源を担う諸機関と協働事業を実施すること等を通じ、入所児童にとっても住みやすい学区づくり・地域づくりに寄与します。

　　５）本体の小規模かつ地域分散化の為、3か所目となる地域小規模児童養護施設の整備について検討を重ねていきます。

（２）後継者確保・育成（採用・教育・定着）

　　１）各ユニットで完全夜勤体制を試行・検証（達成率74.6％⇒80.0％で評価）します。

　　２）「（仮称）サブリーダー」設置を前提に、役割・機能等をリーダー会議で検討します。

　　３）キャリアパス概念図「E.教育等要件」が適用されるため、施設の高機能・多機能化と個々の能力・経験に応じて現地又はオンデマンド研修等への参加や、他分野・他施設・他業種の知見・教養を拡げられる相互交換研修、特定職種の属人化予防策 等を企画します。

（３）心理的安全性の高い働きやすい職場

　　１）職員配置を見越し、学生等（インターン/ボランティア/実習生 等）への働きかけ（アルバイトへ繋げる・施設行事に誘って関係を繋げる 等）を行います。

　　２）職員が発信できる環境づくり・仕掛けづくりを運営会議等で検討します（1on1ミーティング/メンター制度/話し合える場づくり/司会交代制-カードゲーム活用- 等）

　　３）職員ストレスやメンタル不調への理解を深める取組み（ストレスチェック・研修 等）を通じ、働き続けやすい環境づくり（業務省力化/ペーパーレス化/職員SV/5S活動 等）に努め、メリハリある働き方で連続7日間休暇及び個人有給休暇消化率40％を目指します。

（４）事業収益の維持・向上

　　１）実習生・派遣学校との関係づくり（受入人数の増加・ボランティア及び非常勤採用 等）や、採用活動への現場職員の派遣（学校訪問・説明会の出席 等）を実施します。

　２）一時保護児童を含む定員充足率の意識啓発・児童受入れ（目標97％）を行います。

（５）コンプライアンスの遵守

　　１）コンプライアンスの取扱いを運営会議に位置付けるとともに、意識向上に向けた具体的なテーマ設定（権利擁護・虐待防止 等）や取組み計画を策定します。

　　２）事故予防・低減に向けて統計的な集計・分析（毎月・半期ごと）が行えるよう、危機管理委員会を中心に体制を試行します。